

平成24年(2012) 2月21日(火)・22日(水)

平成23年度(2011)

第7回出雲市議会(定例会)

施政方針質問通告一覧表

平成23年度（2011）第7回出雲市議会（定例会）施政方針質問通告一覧表 目次

2月21日（火） 10:00開会				2月22日（水） 10:00開会			
順番	会派名	議員氏名	ページ	順番	会派名	議員氏名	ページ
1	真誠クラブ	萬代輝正	1～3	1	市民・新生クラブ	原隆利	12～13
2	雲州クラブ	狩野正文	3～4	2	斐川クラブ	井上恵夫	14～15
3	平成クラブ	保科孝充	4～5	3	大社クラブ	古福康雅	15～16
4	日本共産党	井原優	6～9	4	公明党	勝部順子	16～17
5	政雲クラブ	直良昌幸	9～10	5	市民新風会	多久和康司	17～20
6	河南クラブ	坂根守	10～12				

# 平成23年度（2011）第7回出雲市議会（定例会）施政方針質問通告

質問者		17 真誠クラブ 萬代輝正	
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 所信について	<p>1. 「市長ポスト」について 開かれた市政運営をめざして、ポストへの投函やメールでの「市長ポスト」は、機能しているのか。</p> <p>2. 「ゼロベース評価」について 財政の健全化、行財政改革で触れている「ゼロベース評価」事業であるが、その効果と本年度の取り上げる事業など具体的に数字をもって示してください。</p> <p>3. 「支所機能」について 「支所の機能や組織のあり方について見直しを進める」と明記されているが、財政の健全化のために、支所をどうしようとしているのか伺う。</p>	市長	
2. 産業都市の創造について	<p>1. 「メガソーラー」について 早々からメガソーラー誘致に手を挙げ、民間事業者からの提案もあるようだが、進捗状況や今後のスケジュール、事業化への見込みについて伺う。</p> <p>2. 「中小水力発電」について 情報としては聞いているが、市での投資額（予算）や規模、賄える範囲など、どのように把握をしているのか伺う。</p> <p>3. 雇用創造推進事業について この事業が雇用拡大につながる内容について、分かりやすく説明を。</p>	市長	
3. 出雲神話観光大国の創造について	<p>1. 観光交流センターやまちかど案内処について 観光客誘致についてのおもてなしの政策であるのは理解できるが、これによる収支、いわゆる設備投資、備品、維持管理等の経費をいくらかけ、経済効果がどれほど見込める事業なのか伺う。</p>	市長	

	<p>2. 創造と想像について</p> <p>日本全国各自治体で、観光戦略を打ち出しているが、一番大事なのは、市への経済効果がどれほどあるか。この一点である。現状の観光消費額と24年度の目標を数値で示すべし。</p>		
4. 都市・交流拠点の創造について	<p>1. 第1次幹線市道整備10か年計画について</p> <p>10か年計画の内4路線が24年度の完成をめざすとのことであるが、全体の進捗状況と計画内での達成見通しを伺う。</p> <p>2. 一畑電車活性化事業について</p> <p>上下分離方式という名のもとに本年度も約2億3千万円（前年より約1億増）の事業予算である。事業者と協力し利用者の増加に努めると言われたが、今までにどのような政策を打ち、今後どのような利用者増（収入増）に取り組むのか具体策を伺う。</p>	市長	
5. 環境先進都市の創造について	<p>1. トキ分散飼育事業について</p> <p>昨年「出雲市トキによるまちづくり構想」を策定されたが、JAをはじめ各種団体からも具体的に何をしようとしている政策なのか見えてこないとの意見である。24年度に向けて具体策はあるのか伺う。</p> <p>2. デジタル式防災行政無線について</p> <p>佐田、多伎地域の運用開始、本年は、湖陵や出雲地域南部の整備着手で進んでいる防災行政無線の出雲市全域の状況を伺う。</p>	市長	
6. 人材育成都市の創造について	<p>1. 出雲市学校再編計画（仮称）について</p> <p>説明会での反応や本年度のスケジュールを伺う。</p> <p>2. スポーツ振興ビジョンについて</p> <p>このビジョン策定はどのような過程でされるのか。後期計画の見直しをしたばかりの「出雲市スポーツ振興基本計画」との関連性・優位性や違いを伺う。</p>	市長	
7. 健康文化都市の創造について	<p>市立総合医療センターについて</p> <p>経営の責任者は、事業管理者であり、事業管理者の任命責任は、市長であるという理解でいいのか。</p> <p>新築事業へ向け熱望されていた地元平田地域での支援体制は、現状どうなっているのか。</p> <p>外来、入院等全てを含んで地域別（旧市町単位）の利用者の人数</p>	市長	

	<p>や割合を伺います。</p> <p>グランドオープンを目前に「徹底したコスト削減、経営分析の強化」を掲げているが、収入面の増収戦略と支出面の削減案を具体的に伺う。又、外部からの人材（経営面）の派遣などは考えているのか。</p>		
8. 総括について	<p>1. 「5つ星の出雲市」について</p> <p>5つ星をめざしている出雲市は、いくつの星が輝いているか。</p> <p>2. 3Sについて</p> <p>3Sは実行されている実感をもたれているか否か。</p>	市長	

質問者	9 雲州クラブ 狩野正文
-----	--------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 安心安全を第一としたまちづくり	<p>1. 「原子力安全協定」締結の見通しについて伺う。</p> <p>(1) 島根原子力発電所の安全対策については、防災上の喫緊の課題として位置づけ、部長級の「防災安全管理監」を置き、防災対策に特化した「防災安全課」が新設された。こうした体制強化の中にあって「原子力安全協定」締結をどう図るのか。</p> <p>(2) 中国電力をはじめ関係機関に対して締結に向けた取り組みと同時に情報提供の強化だけでなく、具体的な安全確保のための通信網の整備や避難の際の誘導灯や外灯の整備などを求めていく考えはないのか。</p>	市長	
2. 産業都市の創造	<p>1. メガソーラー事業、中小水力発電事業やバイオマス事業など新エネルギーの利活用についての基本的な考え方を伺う。</p> <p>(1) 適地選定候補の紹介をし、企業誘致を図ろうとしているのか。</p> <p>(2) 企業局など市が電力供給事業者として参入する事業推進であるのか。</p> <p>(3) 施設電力や街灯など公共施設の光熱費の負担軽減のため導入を図るのか。</p> <p>(4) 商工関係や農林水産事業者に対しての利活用を促進することな</p>	市長	

	<p>のか。</p> <p>2. 農業振興地域整備計画の策定について伺う。</p> <p>(1) 出雲、斐川両地域の農業推進体制の構築を進め農用地の保全等に一体的に取り組むとは、具体的にどのような取り組みであるのか。</p> <p>(2) 出雲市農業再生協議会は戸別所得補償制度の導入に伴って、米のみでなく麦、大豆などの畑作物を含めた生産数量目標の検討や生産振興の必要性から、国が市町村に設置を求めた組織である。作物振興、担い手、農地利用を一体的に図る体制の整備は重要なことであるが、最も重要なことは国土を守るという観点から、農業法人等に対して当面、耕作放棄地などの環境整備に従事する臨時作業員（パート）の人件費の助成を検討すべきではないのか。</p>		
3. 人材育成都市の創造	<p>1. 「出雲市学校再編計画（仮称）」の策定について伺う。</p> <p>(1) 学校再編について計画素案が提示されたが、その後どのように意見を聴取し、何が問題として整理しているのか、そして再編計画（仮称）の策定については、どのようにして策定するのか。</p> <p>(2) 「辺地に係る総合整備計画」では平成23年度から平成27年度までの5年間で公共的施設の整備が計画されている。学校再編は単に学校間の統合や編入ではなく、学校の跡地利用や交通網、公的施設の整備などを含めた地域振興策を基に行なわれるべきであり、地元協議と平行して提示、検討されるべきではないか。</p>	市長	

質問者	4 平成クラブ 保科孝充		
質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 施政方針における所信について	<p>1. 新しい出雲市としての一体感の醸成について 新しい出雲市がスタートした。一体感を醸成するにはソフト・ハードの両面において長期的な視野で取り組む必要があると思うが具体的にどのような考えで進めるのか伺う。</p> <p>2. 安心安全を第一としたまちづくりについて 平成23年7月の豪雨において斐川町の斐伊川下流部地域にお</p>	市長	

	<p>いて避難勧告も検討されていた。異常気象が続く現状の中で、職員をはじめとする関係者の避難訓練等災害に備えた体制を早急に検討する必要があると思う。</p> <p>災害時を考えた支所の職員数・体制を伺う。</p> <p>3. 財政の健全化について 学校の統合計画が提案され、そのほかの教育施設、文化・スポーツ施設、観光施設などの再編・統合計画も検討していくとされている。どのように進められるのか伺う。</p> <p>4. 産業の振興について 斐川中央工業団地の整備を今後どのように進めるのか伺う。 地元対策はどのように考えているか。</p>		
2. 産業都市の創造について	<p>1. 新エネルギーの活用について (1) 太陽光発電・メガソーラー事業の候補地、可能性について伺う。 (2) 水力発電について、河川・農業用水施設などの事業化にむけた取り組みの今後の展開について伺う。</p> <p>2. 雇用対策について 雇用創造推進事業の取り組みにおける雇用の拡大、特に若い方々への支援策について伺う。</p> <p>3. 農業推進体制の構築について 斐川町農林事務局の体制を出雲市全体に普及する考えはないか伺う。</p>	市長	
3. 環境先進都市・人材育成都市の創造について	<p>1. 国際保護鳥トキの分散飼育について 国のトキ野生復帰事業に貢献する施策として、今後どのような事業を実施するのか。</p> <p>2. 発達障害の早期発見対応について (1) 5歳児検診をモデル的に実施するのはどのような形態で実施するのか。 (2) 鳥取県は全県下で実施しており、島根県は松江市で実施している。出雲市全域で実施して頂きたい。</p> <p>3. コミュニティセンターのあり方について (1) 生涯学習施設としての運営が主眼なのか行政施設の補完なのか伺う。 (2) 職員の体制について</p>	市長	

質問者	2 日本共産党 井原 優		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 施政方針策定にあたっての市長の政治姿勢について	<p>1. 「ぬくもりのある福祉の推進」について            政府が進めようとしている「税と社会保障の一体改革」は、医療、介護、年金など社会保障の給付を抑制・削減し、その一方で消費税を10%へと大幅に引き上げるものであり、これは市民に大きな負担を押し付ける、まさに「改悪」です。「ぬくもりのある福祉」を推進するとされる出雲市として国に対し、方針転換するよう訴えることを求めますが、所見を伺います。</p> <p>2. 原子力発電からの撤退の決断を求める            市長は、施政方針の中で「市民の生命・財産を守り、安心安全を確保することは、市の最も重い責務である」と述べておられます。福島第一原発事故の実態を見ると、原発が撤退してこそ、市民の安心と安全が守られると考えます。原発からの撤退を強く求めますが、いかがですか。</p>	市長	
2. 原子力防災について	<p>1. 「原子力安全協定」の締結に向けて            中国電力との間で「安全確保協定」が締結されましたが、立地自治体並みのより強い権限を持つ「原子力安全協定」の締結にこだわるべきと考えます。締結に向けた市長の決意を伺います。</p> <p>2. 避難計画の課題について            原発事故の際、出雲市では30キロ圏内に住む約12万人の避難が必要となります。介護等を必要とする「要援護者」の方の避難方法や避難先、市民への的確な情報提供、ヨウ素剤の適切な服用など多くの課題があると考えます。市長は施政方針で、今年度末をめざして「市民が安全に避難するための方法を定めた計画を策定し」とのことではありますが、計画策定にあたっての課題をどのように認識しておられるか、伺います。</p>	市長	



<p>3. 財政の健全化について</p>	<p>1. 財政悪化の要因について 財政悪化の原因は、特に過去の過大な公共事業にその原因があると考えますが、いかがですか。</p> <p>2. 財政再建は市民の暮らしを守る立場でこそ進めるべき 財政悪化のツケが市民にまわされることはあってはならず、特に福祉サービスの切り捨てなどは絶対に許されないと考えます。財政再建を市民の暮らしと福祉を守る立場で進めることを求めますが、いかがですか。</p>	<p>市 長</p>	
<p>4. 企業誘致のあり方と産業振興について</p>	<p>1. 産業振興政策の転換を これまでの大企業優遇呼び込み型の産業振興政策は転換し、地場産業の育成、地元中小企業の支援へと軸足を移すべきと考えますが、いかがですか。あわせて、「中山間地域の集落維持に必要な商業支援策」について、地域と業者の実情に合わせた早急な具体化を求めますが、いかがですか。</p> <p>2. 企業誘致のあり方と誘致企業の社会的責任について 出雲市を含む県内各地で造成された工業用地の多くが売れ残る中、施政方針では「斐川中央工業団地の整備に着手」することとあります。全国各地で争うように行なわれる誘致合戦は、莫大な税金を大企業に奉仕する一方、非正規雇用の拡大や大規模なリストラ、突然の工場閉鎖など、誘致企業が地域に対して十分な責任を果たしているとは言えない状況があります。 誘致企業は地域に対する責任があり、中でも雇用の確保は最重要であり、安易なリストラや閉鎖、撤退は許されないと考えますが、いかがですか。</p>	<p>市 長</p>	
<p>5. 農林水産業の振興について</p>	<p>1. TPP参加と出雲市農業について TPP参加に向けた交渉が進められる中、特に農業関係者から強い懸念の声があがっています。TPPに反対し出雲の農業を守る決意を伺います。</p> <p>2. 農業振興と耕作放棄地の解消に向けて 斐川町との合併により、本市の農業生産は、県内最大となりましたが、一方、市内各地に耕作放棄地も見うけられます。担い手を確保するため、意欲ある全ての農業者への支援を求めますが、いかがですか、伺います。</p> <p>3. 宍道湖のシジミについて 近年減少傾向にあるシジミ資源の維持・再生に向けて、支援策の</p>	<p>市 長</p>	

	抜本的充実を求めますが、いかがですか。あわせて、現状の課題をどのように認識しているのか伺います。		
6. 子育て支援について	<p>1. 中学卒業までの医療費の無料化をめざすとともに、就学前までの無料化の早期実現を求める          中学卒業までの医療費の無料化を見据え、乳幼児医療費助成制度を拡充し、特に就学前までの子どもの医療費の一日も早い無料化を求めますが、いかがですか。</p> <p>2. 保育料の負担軽減を求める          保育料の第3子以降無料化の現行制度での継続と、第2子保育料の同時入所に関わらず半額にすることを求める保護者の願いは強いものがあります。保育料の負担軽減を求めますが、いかがですか。</p> <p>3. 子ども・子育て新システムに反対を          政府が進めようとしている「子ども・子育て新システム」は、現在の公的保育制度を解体し、株式会社の参入が認められるなど保育を市場原理に委ねるものとなっており、保護者や保育関係者から批判の声があがっています。出雲市として国に対し、「子ども・子育て新システム」に反対の姿勢を示すべきと考えますが、いかがですか。</p>	市長	
7. 人権・同和教育と人権・同和問題について	<p>同和行政、同和教育の終結を求める          施政方針の中で市長は「同和教育をすべての教育活動の基底に据えた取組」を推進するとされていますが、必要な施策は全市民を対象とした一般施策として実施し、同和教育は名実共に「人権教育」へと改めるべきと考えますが、いかがですか。</p>	市長	
8. 高齢者福祉について	<p>1. 第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について          12年目を迎える介護保険制度は、値上げが続く保険料の一方で必要なサービスが受けられない状態が続いています。サービスを充実しようとするれば保険料の高騰につながる現行制度の問題点についてどのように認識しているのか伺います。また、特養ホーム待機者は1,218名となっており、市民からの特養増設を求める声は大きいものがあります。この声にどのように応えるのか伺います。また、保険料の大幅負担増に市民は耐えられません。保険料の値上げ中止を求めますがいかがですか。</p>	市長	

	<p>2. 高齢者等の交通手段の確保について          施政方針で「買い物や通院などにお困りの高齢者等の交通手段の確保については、様々な観点から検討を行う」と述べておられますが、高齢者をはじめ、日常生活における交通手段の確保は緊急の課題であると考えます。実情に応じた早期の具体化を求めますがいかがですか。あわせて、現状の問題点をどのように認識しているのか伺います。</p>		
--	--	--	--

質問者	24 政雲クラブ 直良昌幸
-----	---------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 施政方針の中の第1章―所信のなかから	<p>1. 新市の総合計画策定について</p> <p>2. 安心安全を第一としたまちづくりのなかから 島根原子力発電所の運転再開に対する見解について</p> <p>3. 開かれた市政の実現を目指した住民参加型システムの構築のなかから            (1) 情報の共有化について            (2) 自治基本条例の制定について</p> <p>4. 財政の健全化のなかから            (1) 新年度より策定の“中期財政計画”について            (2) 合併後、歳入の約30%を占める地方交付税が段階的に減額されることの影響と対策について</p> <p>5. 産業振興のなかから            (1) 積極的な企業誘致策として斐川中央工業団地の整備に着手することが発表されたが、この事業について            (2) 今年7月21日～11月11日までの間、県を挙げて取り組まれる“神話博しまね”と平成25年5月の“出雲大社平成の大遷宮”に向け、この機を逃さず、地域の観光環境の整備と産業の振興を図るとされているが、その主たる事業内容と投資予算並びに地域経済に波及する連関予測数値について</p>	市長	

<p>2. 施政方針の中の第2章 主要施策・主要事業のなかから</p>	<p>1. 産業都市の創造のなかから  (1) “中心市街地活性化基本計画”の認定取得について  (2) 市の森林・林業再生のための“森林経営計画”を策定について  2. 人材育成都市の創造のなかから  (1) 斐川町合併後の新市の教育行政の主要事業として“出雲市教育振興計画”を策定するとされているが、その骨子について  (2) “出雲市子ども・若者計画（仮称）”の策定について</p>	<p>市長</p>	
-------------------------------------	--	-----------	--

<p>質問者</p>	<p>25 河南クラブ 坂根 守</p>
------------	----------------------

<p>質問事項</p>	<p>質問内容</p>	<p>答弁を 求める者</p>	<p>記 事</p>
<p>1. 所信について</p>	<p>1. 斐川町と合併して  新出雲市としての一体感の醸成を図り、合併効果を最大限生かすとあるが、早く一体感が醸成されるためには何をすればよいのか、何を早くやらなければいけないのか伺います。また合併効果とは具体的に何ですか、スケールメリットを生かしての新市づくりと思うが、面積が広くなり人口が多くなりどんなメリットがあると考えておられるのか伺います。  2. 市長任期最後の年について  1期4年目の総仕上げとあるが、これまでの3年間の実績は何か、マニフェストの実現状況の自己評価は。最後の1年間で必ず実現しなければいけない事業は何ですか。</p>	<p>市長</p>	
<p>2. 安心安全を第一のまちづくり</p>	<p>津波や原子力事故災害の対策は  東日本大震災は未曾有の大津波による被害が大きかった。想定外という言葉も使われたが太平洋沿岸では過去に今回級の津波の記録はあるようだ。日本海沿岸では過去に何メートルの高さの記録があるのか、県と連携して作られる津波ハザードマップはどんなものか、いつ完成し配布されるのか。  福島第一原子力発電所の事故は原発の安全神話を崩してしまった。放射能汚染に対する「スピーディー」の情報が生かされなか</p>	<p>市長</p>	

	<p>ったと聞く。島根原発では「スピーディー」のシステムがうまく生かされるのか現状を問う、また避難対策は十分か。</p>		
3. 財政の健全化	<p>財政の健全化の手法は</p> <p>財政の健全化は様々な要因があり、健全化への道は非常に険しいものがあると認識しています。事業仕分けやゼロベース評価など市民の声を聞きながら進められていますが私は市長が大ナタを振るわなければ早期の健全化は難しいと考えます。トップダウン式に減額するもの、不必要なものがあるとすれば即刻中止にすべきと思います、市長の決断を。</p>	市長	
4. 産業の振興について	<p>1. 斐川中央工業団地の整備</p> <p>東日本大震災後企業において工場の分散化がすすめられ、出雲市にも打診があったと聞いています。斐川中央工業団地は文化財調査に多額の費用がかかる事、またそれなりの期間が必要と伺ったが一日も早く整備完成させるべきと考えるが平成26年秋より早くなるか。</p> <p>2. 中山間地の商業支援策</p> <p>商業の再生について、12月議会の一般質問にたいしてさっそく中山間地域の集落維持に必要な商業支援策を新たに実施すると有りますが、その中身を具体的にお伺いします。</p>	市長	
5. 人材育成都市の創造について	<p>1. 保育所と幼稚園の問題</p> <p>保育所における待機児童や幼稚園における大きな定員割れなど、就学前児童の子育てを巡る課題については国の動向も踏まえつつ、総合的に検討していくと有りますが、出雲市独自に解決策を取るべきと思うがいかがか。</p> <p>2. 小中学校における道徳教育</p> <p>小中学校においては、道徳教育や様々な体験学習などをおした「心の教育」を引き続き進めるとともに「命を考える教育」の集中取り組みも継続して実施していくとあるが、現実には過去に痛ましい事件が発生している。具体的にどんな教育・指導を考えているのか。</p>	市長	

6. 健康文化都市の創造について	<p>高齢者福祉について</p> <p>高齢者福祉については高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう積極的に支援するとあるが特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設整備や、介護認定者の増加に伴い介護保険料が値上げになる。今後団塊の世代が高齢者になった時に施設に入所可能ですか。今の介護保険制度、介護保険料で大丈夫か。現在の特別養護老人ホームへの入所希望者で待機となっている人数は。</p>	市長	
------------------	---	----	--

質問者 31 市民・新生クラブ 原 隆 利

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 安心安全を第一としたまちづくり	<p>1. 「安心安全の保証は原発廃炉しかあり得ない」と思うが、見解を聞く。</p> <p>2. 17万5千人のトップリーダーとして原発廃炉を積極的に主張すべき。</p> <p>3. なぜ避難することをまず考えるのか。危険物を取り除くことを考えるのが危機管理の最も基本ではないか。</p> <p>4. 島根原発の特殊性をどう認識しているか。</p> <p>(1) 1号炉は運転開始から37年が経過し、設計に瑕疵があったと認めている。</p> <p>(2) 2号炉ではより危険なプルサーマルが計画され、中電は計画通り実施すると発言している。</p> <p>(3) 3号炉はほぼ完成し、事故後初めての運転開始炉となる。運転開始を認めれば炉自体を含めて莫大な量の高レベル放射性廃棄物が発生する。</p> <p>(4) 何よりも中電の原発管理能力の欠如だ。人的ミスを防止できるか。</p> <p>(5) 活断層の存在。中電による宍道断層の危険度認識の甘さをどう見る。</p>	市長	

	5. 放射性廃棄物（高レベル）の処分方法も定まらない中で、原発プールにとどめ置くにも限界がある。テロ対策、落下物の可能性を否定できない。		
2. 開かれた市政の実現を目指した住民参加型システムの構築	<p>1. 「出雲市住民自治基本条例」について</p> <p>基本的に憲法、法令の枠内での条例であり、条例での制限は最低限のものに限定すべきと考えるがいかがか。</p> <p>代議制民主主義を補完するものとしての条例ではなかったか。これでは『住民参加制限条例』ではないか。</p> <p>(1) 常設型住民投票について何う。</p> <p>①なぜ20歳か。18歳とすることの問題点は。国民投票は18歳で動き出している。</p> <p>②外国人をなぜ排除するか。納税者であり、住民である。外国人排除は行き過ぎだ。投票事案を市政上の問題に限定していることからしても必要ない。</p> <p>③投票事案を市政上の問題に限定しているが、誰がその審査に当たるのか。</p> <p>④50%の投票率下回った場合開票しないのはなぜか。公職選挙法にも最低投票率の制限はない。民意をくみ取るのが本旨なら開票し参考にすべき。</p> <p>⑤最終的には議会が決するのが不変の原則であり、住民投票は門戸を広く開けておくべき。これに不満な場合はリコールの制度も保障されている。阿国座問題で何を学んだか。</p> <p>(2) 首長任期の制限に触れていないのはなぜか。職業選択の自由からして最終的には本人判断であり、拘束するものではない。</p>	市長	
3. 財政の健全化	「財政の健全化」はまず財政状況の、住民との正確な共有化にある。「わかりやすい公表」とはどのようなことを考えているのか具体的に示されたい。	市長	
4. 産業の振興	<p>斐川中央工業団地の整備</p> <p>(1) 工業団地に固執する見解を示せ。</p> <p>(2) 発掘結果によっては、重要な観光拠点となる可能性も否定できないがその考えもあるのか。</p>	市長	

質問者	5 斐川クラブ 井上 恵 夫
-----	----------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 安心安全なまちづくりの防災体制の充実を図る組織	<p>1. どの組織をどのように強化されるか  (1) どの組織をどのように強化されるか  (2) 実現される施策はどのようにされるか</p> <p>2. 島根原子力発電所の安全協定について  (1) 島根原子力発電所に係る出雲市民の安全確保等に関する協定が結ばれたが、最終目標である「原発立地市」の権限が付与される「原子力安全協定」は完全に同等のものではあるべきで、今後の対応は「島根原子力発電所」の存続か、廃止か、見解を伺う。  (2) 1号機の高経年化についても見解を伺う。</p>	市長	
2. 斐伊川神戸川の治水対策について	<p>斐伊川神戸川の治水対策について念願の斐伊川放水路事業の完成が見込まれているが、3点セットである大橋川の拡幅工事の着工が遅れ改修には数年の期間が要するため、宍道湖西岸堤防の沈下により非常に危険な状況であり、災害対策として分水が必要と思うが、見解を伺う。</p>	市長	
3. 産業振興について	<p>産業振興と雇用の確保  新出雲市として地域の活性化と発展は最重要な課題であります。  大手企業が集積している斐川工業団地は産業発展への条件の備わった恵まれた基盤を生かして、斐川中央工業団地の整備に着手され、出雲市の産業拠点として活用早急な企業誘致を展開すべきである。  現在企業の引合はあるのかどのような状況か伺いたい。</p>	市長	
4. 開かれた市政の実現について	<p>1. 情報の公開徹底した情報の開示  開かれた市政こそ市民の最大の期待であり、今回の合併によりより効率のよい、地方自治体として出雲市、一層の充実と次世代が安心して暮らせるまちを拓く責任が行政議会にあります。</p> <p>2. 財政健全化の取組について  行財政改革は自治体に課せられた最も重要な施策であります。  「ゼロベース評価」の実行については必要性や費用対効果の取組み</p>	市長	



	を継続し施設の統合再編の検討するが、実現するための施策はどのようにして実行をどのようにされるか伺う。		
5. 農林水産業の振興について	<p>1. 農業再生協議会の協議開始について 合併により新出雲市生産高は県下最大となり多様なブランド品を持つ産地となりました。 農業3F事業、産地拡大支援事業を活用して農業振興を積極的に進める、又、合併により出雲市斐川農業再生協議会の開始より、農業振興地域整備計画の策定はいつ頃に指針が出るか伺う。</p> <p>2. 企画要望として いりすの丘農業公園の活用について 40億の投資整備した農業公園の活用により出雲市農業のブランドをツーリズム観光とリンクして農業の発信基地には考えられないか。</p>	市長	

質問者	35 大社クラブ 古 福 康 雅
-----	------------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. エネルギー政策について	<p>1. 太陽光発電、メガソーラーの立地候補地は (1) グリーンステップにおける立地の可能性 (2) グリーンステップ以外の候補地は</p> <p>2. 必要な土地面積と最大の発電量は 仮にグリーンステップを利用した場合を想定</p> <p>3. メガソーラー立地に伴うメリット及び現在計画されている事業者は (1) メガソーラーが立地すると地域にどのようなメリットがあるか。 (2) 現在計画されているのは1事業者のみか。</p> <p>4. 産業観光部新エネルギー推進室について 昨年設置されたが、設置後の取り組みとこれからの計画について伺う。</p>	市長	

2. 観光振興について	交通対策について 観光施設への案内・誘導・駐車場の状況など様々な課題に対しての交通対策について伺う。(どのような予想をたて、対応策を講じておられるか)	市 長	
3. 漁業振興について	1. 水産物荷捌所について (1) 整備に要した総事業費と果たす機能と役割について伺います。 (2) 他の市場は今後どうなるのか。 (3) 管理運営方法について伺います。(管理者は。年間管理費は。) 2. 水産振興への取り組みについて この施設を拠点に水産振興への取り組みを進めるとあるが、具体的にどのような対策、取り組みを計画されているか伺います。	市 長	

質 問 者	27 公 明 党 勝 部 順 子
-------	------------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 安心安全を第一としたまちづくり	1. 23年度末を目途に市民が安全に避難するための計画が策定されるが、具体的な内容と、周知徹底の方法。 2. 新年度、防災対策に特化した「防災安全課」が設置される。防災安全課や出雲市防災会議に、もっと女性を登用し、女性の視点からの災害対策の取り組みに力を入れていただきたい。(避難所の整備や運営など)	市 長	
2. 財政の健全化	1. ゼロベース評価 (1) これまでの取り組みについての評価。 (2) 事業仕分けの、今年度実施予定と対象事業について。 (3) これまでの市民判定委員や、専門委員の意見を今年度予算に反映出来たのか。 2. 支所の機能や組織のあり方について (1) 審議会などで検討されるのか。 (2) いつまでに結論を出されるのか。	市 長	

3. 高齢者・障がい者や、子どもたちが安心して暮らせる出雲市に	<p>1. 交通手段の確保については、平成17年「平成の合併」以来、出雲市民にとっては重要な課題です。昨年、「公共交通システム検討委員会」から答申を受けてからなかなか方向が示されていないのはなぜか。(市民に対して)いつまで待てば結論は出るのでしょうか。</p> <p>2. 高齢者福祉タクシー制度の対象者拡充について。</p> <p>3. 老老介護支援事業の実態把握と対象者拡充について。</p>	市長	
4. 快適な住環境の整備について	<p>斐川町との合併で、市内に「出雲市水道事業」と「斐川宍道水道企業団」があり、事業の合理化や市民の負担の統一を図るため、統合に向けた検討に着手されると表明されています。</p> <p>(1) いつまでに結論を出される考えか。</p> <p>(2) 課題は何か。</p>	市長	
5. 子育て支援について	<p>保育所における待機児童や、幼稚園における定員割れなど、就学前児童の子育てをめぐる課題について、国の動向を踏まえ総合的に検討されると表明されています。</p> <p>(1) 出雲市では毎年、保育所定員検討委員会が設置され、定員増をされています。子どもの数は、そんなに増えていないのに待機児童が毎年のように増え続けるのはなぜか。</p> <p>(2) 幼稚園の定員割れについて、理由と対策。</p> <p>(3) 国は、子ども・子育て新システムを導入するとしていますが、新システムについて市長の所感。</p>	市長	

質問者	32 市民新風会 多久和 康司
-----	-----------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 所信	<p>1. 合併して良かったと言われる市政運営とは 私は合併して良かったと言われるためには、市の職員が、市民の声に耳を傾けるとともに、でかけてゆくなどの丁寧な対応をすることが必要だと思いますが市長の考えは。</p> <p>2. 環日本海交流の玄関としての連携・発信のためにどうしていかれ</p>	市長	

	<p>るのか。</p> <p>東アジア諸国や都市間との連携をどのように推進していかれるのか。具体策は。</p>		
2. 安心安全を第一としたまちづくり	<p>市民が安全に避難するためのとりくみと皆様への周知徹底について</p> <p>(1) 地域別の避難計画をどのようにされるのか。</p> <p>(2) 市民が自ら考え行動が大切であり、市民一人一人への啓発活動はどうされるのか。</p> <p>(3) 自治会への加入率が下がるなか、市民への周知の徹底をどのように図られるのか。</p>	市長	
3. 産業の振興について	<p>1. 工業団地の整備について</p> <p>(1) 斐川中央工業団地の整備の見通しは。</p> <p>(2) 震災後の企業の生産拠点分散化の動きに対応するために工業団地の整備がいそがれるならば別に新しい工業団地の整備が必要と思いますが、新しい工業団地の整備についての考えはないか。</p> <p>2. 賑わい創出につながる観光地づくりについて</p> <p>(1) 「神話博しまね」や平成25年の出雲大社の「平成の大遷宮」に向けた市としてのハード・ソフト両面の具体策はあるのか。また、市民挙げての協力体制づくりが必要と思います。体制づくりは。</p>	市長	
4. 出雲神話観光大国の創造	<p>1. 観光交流センターと市内各所の「まちかど案内処（どころ）」の役割等について</p> <p>(1) 観光交流センターを①いつ②どこへ③何をするのか。④人員の配置等について。</p> <p>(2) 「まちかど案内処」とは、①どういったものなのか②何をするのか③人員の配置④公か民かなどについて。</p> <p>2. 観光客への対応と「おもてなしの心」の醸成のとりくみについて</p> <p>(1) ボランティア等の育成や活用は＝観光客への対応</p> <p>(2) 「おもてなし講座」の対象者は何人ぐらいか。</p> <p>歴史文化を学ぶ講座も必要でしょうが、全戸に広報いずもに掲載することも良いと思いますがどうでしょうか。</p> <p>(3) おもてなしとして市民の皆様と地域との協力のもとで沿道に花を飾ること（花いっぱい運動）などしてはどうか。</p>	市長	

<p>5. 環境先進都市の創造</p>	<p>1. トキをシンボルとした取り組みについて 市民がトキを自分の目で直接目で見てこそ初めて、トキをシンボルとして、全市的に環境や自然保護に対する意識の高揚が図られると思います。出雲市として国へ働きかけなどをして行くべきと思うがどうか。</p> <p>2. 出雲市環境基本計画の検証と見直しについて 地球温暖化防止はこれからより推進していかねばなりません。今までの取り組みの拡充があるのか。基本計画の成果を検証して、今後どのように生かして、見直しは、いつされるのか。</p>	<p>市 長</p>	
<p>6. 人材育成都市の創造</p>	<p>1. 就学前児童の子育てを巡る課題について 保育所における待機児童や幼稚園における大きな定員割れなど、就学前児童の子育てを巡る課題など国の動向をまつことなく出雲市独自でも、やるべきことはやる必要があると思うが。(現行法の中でも知恵をしばって見つけてゆくこと)</p> <p>2. 小中学校及び幼稚園の学校再編について 児童・生徒のためにどうあるべきかであり、子どもの視点に立って進めていただきたいがどうか。</p> <p>3. 家庭・地域・事業者・行政が一体となった取り組みについて 出雲市子ども・若者計画（仮称）の策定はいつになるのか。計画の中に子ども週間を設けて、一体となった取り組みが必要と思うが、内容はどうか。</p> <p>4. 市と市民との協働とは (1) 協働について。 (2) 市と市民が共に協働してつくりあげていくものならば、市民・職員からお互いに提案や指導があってもよいと思いますがどうでしょうか。</p> <p>5. 国際交流の推進について (1) 青少年の海外派遣事業の内容について。 (2) 交流都市との交流事業はどのようにしていかれるのか。</p>	<p>市 長</p>	

<p>7. 健康文化都市の創造</p>	<p>1. 新市における健康づくり活動について 健康づくりの取り組みと新たな活動について</p> <p>2. 高齢者福祉について</p> <p>(1) 新たに策定される「第5期出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」はいつ策定されるのか。</p> <p>また、この計画に基づき健康づくりが取り組まれるようですが、健康づくりについては、新年度からすぐにでもはじめていただきたい。高齢者の健康づくりを推進することが医療費負担の軽減に、そして、保険料負担の軽減につながります。</p> <p>(2) 地域で安心して暮らせる支援の内容は。</p>	<p>市 長</p>	
---------------------	---	------------	--